



令和3年度学校だより

5月12日

五福校 ごふくこう

No20

文責 本田

ぴかぴかに、心も磨く「無言掃除」

大切なことは話さないことではなく自分で考え、協力・集中してできること

五福小学校の掃除は10分間です。だんだんと子どもの数が少なくなってきているので、一人で掃除をする場所が広がっています。一人で掃除をする場所が広がった上に限られた時間で掃除を仕上げることは大変ですが、みんな一生懸命掃除を頑張っています。みんな一生懸命雑巾掛けを頑張っています。校長室の掃除も2人だけですが、いつもその丁寧さに感心させられます。

無言掃除といっても一言も話さないでただ黙って掃除をするということではありません。「自分で考え、必要なことは話していいので周りの人と協力しながら集中してやりましょう」ということです。掃除で身につくことはいろいろあると思います。

・自分で考え掃除をすることで「段取り」をする力が育つ。(これは料理も同じですね。同時に幾つかの料理を作るとき料理ができる時に片付けも一緒に終わるとスッキリします。)実はこのようなことが将来仕事をする上で役立ちます。いくつかの仕事を同時にこなしていく力が身に付きます。

・・・・論理的思考 段取りする力 プログラミング的思考

・汚れていることはないか、何か手伝うことはないか「気づく」ことができる。友達を助けようとする「思いやり」の心も生まれる。・・・・問題発見能力 気づく力

・きれいにすることで自分の心も磨かれる。
といったことが考えられるのではないのでしょうか？掃除の時間も大切に、学力だけでなく思いやりのある優しい子どもに育てて欲しいと思っています。



グリーンピースの皮をおきました 2年生・あおぞら

昨日、2年生とあおぞらはグリーンピースの皮をむいて中の豆を取り出す作業をしました。この豆はなんと給食のピースそばろ井のピースだったのです。他の学年も2年生とあおぞらの子どもたちがむいたピースを食べたことになります。とっても美味しかったですね。最初は1房に何個ピースが入っているか予想してから作業に入りましたが、中にはピースが9個も入っているものもありました。これで575を作った人もいましたね。「美味しそう グリーンピース 食べたいな」

